

V 年間収支見込みについて

- 9月補正予算では、国庫支出金や基金からの繰入金などの活用に加え、繰越金を計上することにより、必要な財源を確保し、さらに、年度間の財源調整を図るため、財政調整基金に30億円の積立を行うことができました。
- なお、7月に交付税大綱が発表され、臨時財政対策債を含む実質的な普通交付税は、当初予算と比較して約40億円の増額が見込めることとなりましたが、一方で歳出においても、生活保護費などの社会保障費や電気料金値上げに伴う影響等で、今後約40億円程度が必要となるものと考えられます。
- 現時点では、県税収入は当初予算額を確保できる見通しであることから、退職手当債について当初予算どおり発行を見込めば、年間収支は均衡する見込みです。

<今後の年間収支見込み>

[歳入]

普通交付税・臨時財政対策債	約40億円
---------------	-------

[歳出]

追加財政需要	約40億円
--------	-------

・社会保障費・光熱水費等	約40億円
--------------	-------

[収支]

	±0
--	----